

YMCA 大阪青年

10

2021年10月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



YMCAスピリットを原点に

私は高校を卒業後、土佐堀のYMCA予備校に通っていました。肥後橋で川を眺めながら将来に思いをはせたことを懐かしく思います。

そんなある日、福井達雨先生による知的ハンディキャップを持つ子どもたちの学校の設立、キリスト教にもとづいた教育実践についてのお話を拝聴し、「将来、教育に関する仕事に就きたい」という夢を持つようになりました。

日本の大学を卒業後、米国と英国に留学。睡眠時間を削って文献を読み、教授やクラスメイトと議論する学業生活を送りました。英国オックスフォード大学では比較教育学を専攻し、日本と世界の教育の共通点や相違点について学びました。

教員として勤める東京外国語大学で担当するクラスは世界約30ヶ国からの留学生、日本人学生が学びます。授業は全て英語、ディスカッションやグループ発表をとり入れ

た学生中心の学習です。西洋圏からの留学生はよく自分の意見を述べますが、日本人学生は控えめです。しかし一学期が終了するころには皆慣れてきて自由に発言するようになります。

また私は大阪市立水都国際中学校・高等学校の学校協議会委員を務めています。公設民営(設置者は大阪市、運営は大阪YMCA)による中高一貫教育校として国際バカロレア(IB)コースを設置した学校です。

いま世界はVUCA(Volatility【変動性】・Uncertainty【不確実性】・Complexity【複雑性】・Ambiguity【曖昧性】)な社会といわれています。予測不可能な問題が多発し、先の見通しが不明確な時代において、人類として持続可能な解決策を導き出すことが求められています。そこでは、多様な文化背景の人々と協働し、答えのない問題にねばり強く取り組み解決する能力が求められています。また寛容の精神をもって批判的

に意見を述べるのが大切とされます。つまり「正しい答えを覚える」学び方から、獲得した知識をベースに議論を繰り返して「答えのない事柄に答えを見出す」ための学びへと変化が必要です。水都国際の学びはこうした世界スタンダードの能力育成をめざしています。

私のこれまでの人生は楽しいことも辛いこともたくさんありましたが、いつもYMCAスピリットと共にありました。YMCAでの学びを経た子どもたちが、その学びを礎に未来を築く人々となることを期待しています。



東京外国語大学大学院
総合国際学研究院
教授

おかだ あきと
岡田 昭人

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。



みつかる。つながる。よくなっていく。

YMCAのブランドスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」には、社会の構成員である一人ひとりの多様性をつなぎ合わせることで、平和な社会を創造するという願いが込められています。大阪YMCAはその実現の手段の一つとして、国際バカロレア (IB) による教育プログラムをインターナショナルスクールと水都国際中学校・高等学校で採用しています。IBは1968年により良い平和な世界を築くために貢献する人材育成を目的に創設され、今では世界の5,000校以上が加盟し、未来を担う子どもたちに必要な教育の姿を模索し続けています。一方、世界YMCAは、若者と共に取り組むべき課題として「環境」「健康」「雇用」「市民参画」を掲げ、国際的なネットワークを活かして活動しています。大阪YMCAの生徒はこれらの世界YMCAのプロジェクトに参加し、世界に広がるYMCAで学びを深めるチャンスがあります。近い将来、次世代を担うリーダーになることを期待しています。大阪YMCAは約7,000名の子ども・ユースと関わりがあります。より良い学びの場・教育の機会を提供できるよう、IBスクールの経験を活かしてまいります。

大阪YMCAインターナショナルスクール (OYIS) 11年生 **政木 恵理香**

私は、世界YMCA同盟によるYLSS (Youth Led Solution Summit) に参加しています。YLSSは若者が明るい未来を作り上げるようにサポートする、いわゆる若者による取り組みへの支援です。このYLSSでは自分たちでチームを組み、解決策を考え、提案が通れば支援金が支給されます。そして私たちが考える問題の解決策を実行することができます。そこで私もOYISでチームを形成し、若者の第一次産業への就業率



の減少を解決しようと準備しているところです。提案が通らないこともあります。今は前進あるのみだと考えチーム一丸になって雇用問題解決をめざします。YLSSは初期段階で専門家による授業を受けることができ、私もその授業に参加しました。YLSSに参加したことによって今まで考えたこともなかった社会問題に意識が向き、人々との協力の重要性を感じることができるようになりました。

世界YMCA同盟は過去に環境問題やコロナ禍での雇用問題についてのサミットを開催していて、近々、コロナ禍での心の健康についてのサミットも行う予定です。



世界YMCA同盟 YLSS

大阪YMCAインターナショナルスクール
IBコーディネーター
ジェイミー リドルス
Jamie Riddalls

IBスクールがめざすことは、子どもたちが世界の人々と共に生きるための力を得ること。全ての生徒が2ヶ国語以上を身につけ、幅広い文化や経験から学びます。世界的な課題に目を向け、それらの解決に取り組むことで、様々な視点から課題を捉え、利害関係を正しく理解します。学びを通して、知識を身につけると同時に様々な問題に立ち向かう力、物事を成し遂げる

力、人々に伝える力、情報の正確さを見極める力など、21世紀に必要なスキルを身につけ、地球市民として活躍する準備を整え、未来の国際社会へと飛び立ちます。



水都国際中学校・高等学校
IBコーディネーター
さとう ごろう
佐藤 吾朗

アフリカで国際協力に従事していた折、海外での任期満了が迫り、娘、息子たちの進学先としてIB校はどうかと探してみると、多くのIB校の授業料が高額であることに気づきました。これはIB教育に誰もが平等にアクセスできないということです。その中で、IB教育を公立学校の授業料で行う水都国際中学校・高等学校に出会いました。大阪の子どもたちにIB教育への門戸を開くという重要な使命をもっている本校に惹かれ、私もその使命を担う一員になりました。開校から3年、今年度、卒業生を初めて送り出します。世界で活躍する同志となっていく生徒たちが、大阪、水都から羽ばたいていきます。



今夏、大阪YMCA、朝日新聞社、近畿日本ツーリストが「SDGsキャンプ実行委員会」を結成し、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターにも協力いただき、海洋というロケーションとキャンプという手法での体験を通してSDGsを自分事として捉えることを目的として、対象者別に2種類のSDGsプロジェクトキャンプをYMCA阿南国際海洋センターで実施しました。

ホームページでも報告を掲載しています。▶



SDGsジュニアリーダー養成キャンプ (実施日程 7月31日~8月3日)

ユース事業部 広域開発事業グループ 野外キャンプ事業 **なかしま ゆうじ 中嶋 祐二**

中学生・高校生を対象としたSDGsジュニアリーダー養成キャンプは、グループごとに自分たちが考えた課題に対する取り組みを、無人島での生活体験を通して実践しました。普段の生活では当たり前に見える火や水が自由に使えないことや、海岸漂着ゴミを目の当たりにしながら、それぞれ課題解決に向けた意見を出し合い、試行錯誤する姿が見られました。キャンプ最終日には、これからの生活で実行していく活動指針として一人ひとりの“My Action Plan”を作成し、「節水やゴミの分別などを実行し続ける」「今回学んだことを家族やまわりの人に伝えたり、出前授業をしてSDGsを広める」などの行動計画を立てました。今回得られた経験や気づきが、参加した一人ひとりのこれからの生活に生きていくことを期待しています。



SDGsリーダーズキャンプ (実施日程 8月12日~14日)

ユース事業部 YMCA学院高等学校 **おおつか ゆうた 大塚 雄太**

主に教育関係者を対象としたSDGsリーダーズキャンプは、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員 及川 幸彦氏の講義からスタートしました。このキャンプでの実体験を通して「生き抜くために必要なものは何か」を考えました。限られたモノや資源をどう活用すべきか、持続させるためにはどのようにすべきかを議論する中で、「自分たちが感じたように子どもたちにも自分で感じ、考えてもらう環境を作らなければならない」という方向性を確認し合うことができました。それぞれの学校や企業、行政の現場で、SDGsへの取り組みをどのように実践できるかを協議し、お互いに意見交換を行い、次回開催されることを期待し、有意義な時間を過ごすことができました。



YLab「アジアの今 ミャンマーの現状」に参加して

公益財団法人大阪YMCA理事 **すぎうら まきこ 杉浦 真喜子**

8月7日(土)、YLabにオンライン参加しました。公益財団法人PHD協会事務局長の坂西 卓郎氏の講演の中でミャンマーのMさんの生の訴えも聞くことができました。Mさんは、私の記憶が間違っていないならば、7,8年前PHDに研修にいられていて、大阪YMCAでもお話を聞かせていただきました。あの時彼女は民主化が進み近代化しつつあるミャンマーの農村での保健衛生に関わる仕事に希望を燃やしている様子でしたが、その彼女が泣きな

がら今のミャンマーの様子を語っていました。2月1日の軍事クーデターから6ヶ月余り、800人以上が殺され、多くの人々が拘束されている現状で、彼女たちもいつ捕まるかと怯えながらの日々の様子でした。

ただ、そんな中でも、市民による草の根の民主化運動も起こっているとのこと。そして今私たちにできることとして、以下の4点を挙げていただきました。「知ること」「寄付すること」「参加すること」「ボイコットすること」。

心が痛み、いろいろ考えさせられました。少し勇気も与えられた会でした。

「サポートキッズやえのさと」開設記念講演会報告

ユース事業部 発達支援事業グループ長 **みやはら まなぶ 宮原 学**

サポートキッズやえのさとの開設を記念し、梅花女子大学教授の伊丹 昌一先生をお招きし、「幼児期にしておいた方がいいこと」と題したオンライン講演会を開催しました。参加者は300名を超え、保護者の他、教育や保育、療育に関わっている方々に視聴していただきました。

伊丹先生から、近年「発達障害」から「神経発達症」とも呼ばれるようになってきた。生まれたときの「症状」は障がいではなく、社会で生活するのにあたり、周りの環境などによって「障がい」が生まれるが、これは解決ができる。忘れ物は忘れても大丈夫なように関わり、〇〇はダメではなく、他の望ましい行動を示す。多動な子どもをじっとさせるではなく、スポーツなどで体を動かす。周りの人が、「正しく!」と注意ばかりしていたら話す意欲を減退させてしまう。具体的な場面がイメージできる事例を交えての話は

誰にでもわかりやすく、悩んでいる保護者や支援者への希望となり、結びの「今を幸せにすることで未来を変えることは可能!」という言葉は参加者への力強い励ましメッセージでした。

大阪YMCAでは、発達にさまざまな子どもを対象として1996年にサポートクラスを開設し、早い時期から適切な療育を行うことが子どもたちの成長過程において重要であるとの考えから、2016年に南YMCAで児童発達支援事業であるサポートキッズ、2021年7月にサポートキッズやえのさとを開設いたしました。サポートキッズやえのさとは、高齢者支援施設YMCAサンホーム内にあり、今後は、高齢者も含め、地域とのつながりをつくってまいります。



スポーツと食欲の秋

ユース事業部 土佐堀事業 健康運動指導士

やまうえ あや
山植 亜耶

食欲の秋とは、お米や果物が実り、多くの食物が旬になることが由来といわれています。

食べることに必要な歯と咀嚼力(噛む力)は食べる時だけでなく、スポーツ、全身の運動に大きく関わっています。ボールを打つときや蹴る時、踏ん張る時など歯をぐっと噛み締めることで大きな力を発揮するといわれています。しかし、近年柔らかいものが好まれよく噛むことが少なくなり咀嚼力の低下が問題になっています。

咀嚼力を鍛えることや歯のかみ合わせをよくすることは体の問題だけでなく、脳の活性化やバランス能力向上、認知症や転倒予防、姿勢の保持などの役割が期待できます。

厚生労働省では、ひとくち30回以上噛むことを目標として、「噛ミング30(カミングサンマル)」運動を提唱しています。

皆さんもご家族でよく噛む習慣をつけてみませんか。よく食べてよく噛んでよく運動する。日常的なことだからこそ意識したいものです。



ユースリーダー安全支援金へのご協力に感謝申し上げます。

2021年8月度報告・敬称略

畔上 隆司	神田 緑	谷川 寛	弘田 優子
油田 彩音	木崎 浩之	田端 桐子	福井 てる子
有田 和子	木田 泰之	塚口 景子	福井 徳子
飯田 亜祐未	木村 弘子	辻井 豊明	藤井 三津子
飯田 雪子	國津 香織	津田 晃男	藤好 基子
石野 小葉都	久米 榮子	寺下 祐子	藤原 裕美
石橋 基文	小久保 裕子	寺田 咲子	藤原 学
石橋 由加	小島 宏樹	徳野 優月	外園 順子
稲田 恭子	小林 亜津美	刀彌 仁美	牧村 昭一
猪間 冨香	小山 陽子	登山 克彦	松浦 恵子
今井 利子	近藤 真帆	登山 泰江	松田 克美
今井 裕	坂井 祐菜	中井 琴子	松村 明代
岩城 由香里	坂之上 範子	中井 則子	松本 祐香史
岩下 寛子	坂本 安世	中岡 陽美	丸尾 欽造
岩本 順子	笹島 智恵美	中田 賢二	水越 郁代
上田 和寛	佐藤 直子	中田 優	南 豊
上田 裕子	季 海萍	中西 創楽	峰村 加代子
上村 五月	下堂 秋生	中野 玲菜	宮崎 登紀子
ウオクニ株式会社	下村 崇史	仲原 成岳	宮西 知華
浦川 俊幸	下村 颯功磨	中村 茂高	宮本 ルミ子
浦田 智美	小路 清一	中村 祐介	村上 いちか
恵美奈 博光	杉浦 真喜子	中元 直美	森 哲史
遠藤 通寛	杉野 祐香	並木 聡子	森田 菜月
大阪センテニアルワイズ	杉村 徹	西川 則幸	森田 ひとみ
大阪なかのしまクラブ	澄川 菊代	西詰 麻子	森山 恒貴
大澤 美奈子	隅田 薫	野田 寿加子	森山 みどり
大野 真由美	関 寛之	則兼 千世	山内 淳子
大濱 篤史	妹尾 直子	橋本 恵典	山田 弥子
小川 久美子	田頭 佳子	長谷部 一義	山地 弘伸
尾北 昇	高畑 清美	畠 保	山本 晃平
奥野 正美	高松 葉子	浜口 真理	山本 雅司
片山 忍	武井 和子	浜野 昌保	横山 伊津子
河合 美保	竹安 佳余子	林 貴子	吉田 陽香
川上 香	多々納 直子	比嘉 幸	吉田 全孝
川田 恭平	立山 浩美	樋上 恵一	吉田 由美
河内 勇人	田中 真奈美	平垣 義彦	吉原 順子
河部 智子	田邊 紗季	広 いずみ	若林 美帆

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

■第334回 日 時...2021年10月15日(金) 7:30~8:15

※朝食会はございません。

証 し...林 健太郎さん

(大阪YMCAユース事業部 グローバル事業グループ長・土佐堀会館 副館長)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2021年8月度報告・敬称略

【新規会員】

小西 輝

【継続会員】

川本 博信
工藤 義正

【継続賛助会員】

株式会社扇谷
社会福祉法人関西のちの電話
象印マホービン株式会社
延原倉庫株式会社
株式会社レンゴー建設

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

